

## 4. キャップ制（履修制限制度）

大学設置基準では、「大学は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1年間又は1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるよう努めなければならない」と規定されています。

本学では、単位の実質化を図るとともに、各年次にわたって適切に履修することで学修の質を向上させることを目的とし、『**キャップ制**』を導入しています。キャップ制とは、**1学期で履修できる単位数の上限を設定する制度**です。

大学設置基準上1単位は、教員が教室等で授業を行う時間に加え、学生が予習や復習など教室外において学修する時間の合計で、標準45時間の学修を要する教育内容をもって構成することになっています。また、これを基礎とし、授業期間は年間およそ30週、約30単位を修得することが標準とされ、大学の卒業要件は4年間にわたって124単位を修得することを基本として制度設計されています。通常の授業科目は15週間で実施されますので、1単位の授業科目は、毎週3時間の学修を必要とする内容をもって構成されます。

例えば、1学期で20単位を履修したとすると、毎週 $20 \times 3 = 60$ 時間学修することになります。週60時間ということは、月曜日から土曜日までの6日間毎日10時間学修することになります。実際には、いわゆる『単位時間』で計算しますので、1日あたり7.5時間学修することになります。

## 5. 科目ナンバリングについて

本学では**科目ナンバリング**を導入しています。

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や履修順序、科目間の連携等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことで、学生が科目の水準や専門性に応じて、適切な授業科目を選択する際の助けとなります。

ナンバリングは「**科目分類（略称）**」、「**学科コード**」、「**段階を表す番号**」の組み合わせで表します。

(例) **ECON-P-100**

番号…科目の段階（表2参照）

学科コード…政治経済：P、欧米文化：A、日本文化：J、児童：C、  
心理福祉：S、その他：0

科目分類…科目分類の略称

(例) ECON：ECONOMICS（経済学）の略（表1参照）

科目ナンバリングは、学生要覧カリキュラム表やシラバスに記載されています。

表1 科目分類

分類	略称	英語名称	分類	略称	英語名称
アメリカ文化	AMER	American Culture	学際領域	INTD	Interdisciplinary Studies
異文化交流	CCOM	Cross-cultural Communication	キャリア教育	CRED	Career Education
英語	ENGL	English	教育学	PEDA	Pedagogy
英語(ECA)	ECA	English Communication Arts	教科教育学	SUBP	Subject Pedagogy (specific to major)
英語学	EGLI	English Linguistics	教職	TETR	Teacher Training
英語教育	ENGE	English Language Education	行政学	PUAD	Public Administration
欧米文化	EACL	European-American Culture	キリスト教	CHRI	Christianity
欧米文学	EALI	European-American Literature	経営科学	MASC	Management Science
音楽	MUSI	Musicology	経営学	MGMT	Management
会計学	ACCT	Accounting	経済学	ECON	Economics
外国文学	WLIT	World Literature	芸術学	ARTH	Art Theory